



錦中だより



令和6年10月1日
墨田区立錦系中学校
校長 和田 浩二

校訓 ○知性をみがき
○品性を高め
○体力をつける

＜目指す生徒像＞
未来への夢や希望をもち
こころざし高く歩み続ける生徒

今月の学校公開日 19日(土) 錦中ハローワーク(1,2年)・進路説明会(3年)

70th Anniversary

開校70周年を迎えて③新標準服の導入と校則の見直し

副校長 本多 泰介

昨年度から導入された体育着(ジャージ)も、大分見慣れてきたところですが、標準服にも切り替わりの時期がありました。

平成19(2007)年に、それまでの詰襟の学生服・セーラー服の標準服から、現在のブレザーの標準服に移行しました。公立学校でのブレザーは、当時としてはまだ珍しいことだったこともあるかもしれませんが、新標準服の検討は、約4年かけた記録があります。定まっているものを変えるというのは、多くの人の意見や思いが関わっていると感じさせます。



現標準服に移行してから20年近くが経ちますが、この間にも少しずつ、標準服に関するきまりは変化し続けています。例えば、夏服の定番になっている紺のポロシャツが導入されたのは、令和2(2020)年。儀式的行事以外の通常時は、ハイソックスでなくてもよいといったきまりができたのも、ここ数年の出来事です。

服装や髪型等のきまりは、校則によって定められています。「校則」というと、生徒では意見できない厳然としたもののイメージがありますが、社会の情勢や在籍している生徒の思いで、見直しをすることはできます。実際に、5年前までの校則では、「男子のソックスは、黒か白の無地でく

るぶしが完全に隠れるもの。女子のソックスは、紺で本校指定または無地のハイソックス、ふくらはぎが隠れるもの」「靴は白または黒のひもの運動靴とし、靴とひもの色は同色のみとする」といった記述がありました。現在は異なっている部分があります。

では、これらのきまりは、どのようにして変わっていったのでしょうか。生徒会を中心とした生徒の意見を受け、先生方と話し合い、ときに保護者や地域の方の考えもうかがいながら、全員が納得できる校則を作り上げることを目指してきました。はじめは、一人一人の違和感からのつぶやきかもしれません。しかし、本当に必要なことであれば、声に出してみることも大切です。(わがまを言うのとは違います)

先日も生徒会役員選挙が行われたばかりですが、機会を得て発言するばかりでなく、実現に向けて努力することを忘れてはいけません。生徒会選挙のプロセスは、地方議員や国会議員を決めるプロセスと大きくは変わりません。校則の見直しは、これまでの先輩方の努力により、今通う生徒の皆さんにとって心地よいものとなっていることに気付く機会となっているとよいと思います。皆さんの協力と理解をお願いし、共に素晴らしい学校生活を築いていきましょう。



生徒会役員選挙を実施しました

9月27日(金)に、生徒会役員選挙を行いました。今年度は、会長に3名、副会長に1名、2年運営委員に2名、1年運営委員に3名が立候補し、計8名での選挙活動を行いました。立候補者は、登校時の選挙活動や、給食時の政見放送、玄関のサイネージディスプレイや選挙広報など、期間中様々な活動を行いました。役員選挙当日は、急なオンライン対応がありましたが、一人一人が「錦系中をもっと楽しく挨拶のあふれる学校にしたい」や「錦系中のいいところを伸ばしたい」といった、学校への熱い思いをもち演説していました。10月15日の後期任命式で第70代生徒会本部が始動します。錦系中の良き伝統を守りつつ、さらなる新しい風を吹かせてください。

＜新役員＞


- 会長 2年
- 副会長 2年
- 本部役員 2年
- 本部役員 1年
- 本部役員 1年



生徒会役員選挙担当



10月の行事予定

1	火	都民の日 専門委員会
2	水	
3	木	学芸発表会(舞台発表の部) 給食なし 定時退勤日
4	金	錦中コンテスト(理科) 代表委員会 英語検定
5	土	
6	日	TRICK OR TREAT 
7	月	連陸選手壮行会
8	火	連合陸上競技大会@国立競技場
9	水	
10	木	専門委員会 すみだいじめ防止の日
11	金	前期終業式 安全指導 校内美化 代表委員会
12	土	数学検定
13	日	
14	月	スポーツの日
15	火	後期始業式 後期任命式 職員会議のため5時間授業
16	水	
17	木	連合音楽会
18	金	錦中コンテスト(タイピング) 避難訓練 漢字検定
19	土	土曜授業 錦中ハローワーク(1,2) 進路説明会(3)
20	日	中学生海外派遣報告会
21	月	朝礼
22	火	三者面談(3) ハートフルウィーク(1,2)
23	水	三者面談(3) ハートフルウィーク(1,2)
24	木	三者面談(3) ハートフルウィーク(1,2) 歯科検診
25	金	三者面談(3) ハートフルウィーク(1,2)
26	土	
27	日	
28	月	生徒会朝礼 三者面談(3) ハートフルウィーク(1,2)
29	火	三者面談(3) ハートフルウィーク(1,2)
30	水	幼保小中一貫教育協議会のため、給食後下校
31	木	

※最新の情報は学校ホームページ、スクリレ、COCOO(ココウ)での配信等でご確認ください。



上級救命講習受講

自主防衛隊は、9月21日に本所消防署において上級救急救命講習に参加してきました。今年度は4名という少人数でしたが、みなさんしっかりとした態度で受講していました。前半は講義による知識と心肺蘇生、AEDの使用の実技を学び、後半は三角巾を使用した止血、固定の方法を学びました。最後のテストも全員が合格し、講習の修了証をいただくことができました。今回の講習で身に付けた技術を必要とする機会などありましたら、命を救うために、是非ともその力を発揮してほしいと思います。

お知らせ

通知表について

終業式にて、通知表を渡します。前期の頑張りに対する励まし、後期に向けての目標について話をするきっかけにさせていただきたいと思えます。できた・できなかったという結果も大切ですが、どのように努力したかというプロセスや、次はどのようにしたらうまくできるようになるだろうかと対策を練ることも大切なことです。

さて、昨年度より、前期通知表の「学校から家庭へ」(いわゆる所見欄)を廃止しています。これは、教員の働き方改革の一環としての取組です。前期の生徒の様子については、7月の三者面談にてお伝えしていることや、ハートフルウィークを通じ、生徒と向き合う時間を設けることで、所見の代わりとさせていただきます。

後期通知表の所見欄については、これまで通り記載していきます。ご理解いただきますようお願いいたします。



ハートフルウィークの実施について

10月22日から29日にハートフルウィークを設定しました。夏休み以降の生徒の頑張りや目標において取り組んでいることの進捗状況を教員と共有します。また、学習を始めとした学校生活全般などについて個人で困っていること等を相談できる場としています。この機会を通して、生徒がより安心して生活できる学校を目指します。

学童クラブへの学習ボランティア

先月、UCSの「学童ボランティア」2回目の活動を行いました。参加した生徒たちは、学童に通う小学生の宿題のサポートを行い、その後一緒に遊んで楽しい時間を過ごしました。宿題を手助けする中で、生徒たちは小学生が理解に困るポイントを丁寧にサポートし、小学生の成長を感じる場面も多く見られました。活動を通じて、小学生と接することの楽しさや難しさを体感し、生徒たちにとって



も貴重な学びの機会となりました。今後も月に1回の活動を予定しています。